

2017年2月

## いすゞフィリピンの創立 20 周年を記念して植林活動を実施

創立 20 周年を迎えるいすゞフィリピンズ(Isuzu Philippines Corporation : 以下 IPC)は、積極的な CSR 活動を展開しています。

その一環として、2月4日、マキリン山保安林(フィリピン大学が運営する国有森林保護区)で植林活動を行いました。

マキリン山保安林の保護は2010年から継続して実施しており、これまでに13ヘクタール、13種 300本以上の苗木植樹を行い、山林保護のための歩道(1.3km)も合わせて設置しています。



IPC社長を始め、たくさんの社員が参加しました。



### 【植林活動に参加して】

メイ・ガロロさん(人事課)

『私達は木を植えて終わりではなく、「Your responsible partner」というスローガンに従って、植林作業はもちろん、環境の維持継続活動まで行っています。』